

令和5年校長年頭挨拶

あけましておめでとうございます。

みなさま、昨年のお疲れなど癒し、リフレッシュして新しい年を迎えられたことと思います。

私は新年を久し振りに新潟県妙高市の田舎で迎えました。積雪の無い元旦と喜んでいたら夕方からの雪で、一面雪に覆われた田舎の風景を楽しんできました。日本海側の冬の暮らしは41年振りになるので、こちら津幡の冬に気を一層引き締めています。

本日より令和5年の仕事が始まります。世間一般としては厳しくなりそうな冬にコロナ禍、不安な国際情勢など心配の種は多々ありますが、それ以上に、高専制度発足から60年を経てIT人材等の必要、製造業の国内回帰などで益々大きな期待が寄せられており、これに応えなければなりません。

例えば、石川高専が大きな成果を挙げてきた情報方面の教育に関して、昨年はさらに、全科挙げて取り組む新たなDX人材育成事業へと進展しています。我が国社会のDX化を切り拓いて行く人財を育てるという重要な任務を得て、これまで着々と準備を進めて来ましたが、ついに教育実践が始まります。これで現実社会に成果を還元できなければ、学生も人々も将来、困ることになります。こいういう前向きな緊張感とともに新年を迎えることができるのは、大変幸せなことと感じます。

さて、先走ってしまいました。昨年を振り返れば学生たちは、高専体育大会においては北陸地区大会16連覇や全国大会での様々な活躍、高専ロボコンで全国大会出場、高専デザコンで全国大会で部門最優秀賞等受賞など、例年に負けず劣らず様々に活躍してくれました。また新たにWRO (World Robot Olympiad; 世界の若者を対象とするロボットの大会) 日本大会のFuture Engineers部門に2チーム参加で優勝・準優勝し、優勝チームは世界大会(独ドルトムント)に進み10位など、新規開拓もみられます。一方、学生が毎年工夫を凝らして盛り上がる紀友祭ですが、昨年もコロナ対策のため以前のような地域・一般の方々に広く開かれた形にまで回復はできませんでしたが、学生のご家族の参加を頂き大変賑やかに開催されました。

教育面では、数理・データサイエンス・AI教育プログラムの応用基礎レベルを2学科が認定され残る3学科も認定に向け順調に準備を進めています(認定済みは全国高専で11学科・系列のみ)。また、スケジュールが繰り延べされてきたJABEE認定も新年度からの審査に向け対応準備が進んでいます。大変な業務を担当いただいた教職員に感謝します。

研究面では、令和4年度科研費の新規採択16件は全国立高専でトップ、継続等含む計44件も間違いなくトップクラスと思います。令和5年度新規申請は継続が多いため減少しましたが60件と、2月以降の結果判明が待ち遠しいところです。

地域連携の面では、企業技術説明会は引き続きオンライン開催となり、交流見学会は見学のみとなりましたが、学生にとってまた本校にとって大切な事業として継続することができました。夏休みこども石川高専や部活支援の新たな取り組みなど小中学生の教育貢献においても進展がありました。

国際交流の面はコロナ禍の影響が最も大きい部門でしょう。昨年夏に留学生の帰省は叶い、また海外で活躍するOBOGに学ぶ機会などの取り組みも進んでいます。学生が楽しみにしていたであろう4学年の海外研修旅行は残念ながら引き続き令和5年度も中止せざるを得なくなりましたが、代替的に国際感覚を学ぶ取り組みの模索も進んでいます。

施設面では、情報処理センターの改修などが進んでいます。教室等の一時的移転等で多くの方々に影

響しておりますが、老朽施設更新や新たな課題対応のため施設整備は、キャンパスマスタープランを踏まえ着実に進める必要があります。予算確保をはじめ関係教職員の協力をお願いします。

学生募集・志願者確保については、夏休みの体験入学をはじめとして各イベントを対面で実施でき、11月のオープンカレッジでは新たに中学校2年生も対象として、学校説明会や各地での入試説明懇談会も含め多くの中学生及び保護者の参加をいただきました。コロナで一時的に低下した入試倍率も昨年からの回復が見られています。

なお、令和5年度入学者選抜からWEB出願となっており、推薦による選抜は年末から既に手続きが始まっており、学力による選抜のほうでも近々始まります。体験入学等の参加登録をWEBで行うことで志望者側への試行となっていますが、試験・採点等はもとより入試業務全般が中学生の人生を左右するものでもあるとの観点から、万全の取り組みをお願いします。

これら今年の、学生の活躍、教育研究の進展などはいずれも、教職員個々の努力と連携協力により実現できたものであり、改めて感謝申し上げますとともに、今年もご協力ご尽力をお願いいたします。

学年末が近づき、学生指導が一層重要な時期となっています。学生や保護者との連絡を密にするとともに、各教職員・学科・学生相談室・事務部が連携協力して各学生に必要なきめ細かい指導を行っていきましょう、よろしくお願いします。

令和5年も、激動する国際情勢やコロナ禍などに翻弄されることはあっても負けることなく、グローバルに活躍できる創造力と実践力を持つ人間性豊かな技術者育成に、教育後援会や同窓会・地域企業等と連携しながら、教職員一丸となって全力を注いでいきたいと思っております。

最後になりますが、学内外の多くの方々のご理解ご支援をお願いいたしまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。